

年間授業計画（令和5年度）

東京都立 東 高等学校

科目（単位数）	地歴科 世界史B（4単位）
対象学年・（組・コース）	第3学年（必修選択）
使用教科書（出版社）	「世界史B」（山川出版社）
副教材等	「タペストリー」（帝国書院） 「総合マスター世界史B」（浜島書店）

学期	学習内容	学習の目標・留意点	学習活動（具体的に） 「読解力」「言語力」 「論理的思考能力」の育成
1学期（52）時間	前半 1章 オリエンと地中海世界 5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	・古代オリエンとギリシア、ローマの歴史的展開を理解するとともに、現代的な課題について考える。 ・西ヨーロッパ世界では、封建社会が成立し、キリスト教会や修道院の果たした役割について理解する。中世社会の衰退の原因やその後の展開について説明できる。	・教科書や資料集だけでなく、プリントや白地図作業帳、映像を用いる学習の型に慣れる。 ・西ヨーロッパについて、教科書・資料集を参考にして、重要事項をプリントにまとめ、文献を参考にして考察する。 ・ワークシートにまとめたり、自分の意見を記入したりする。
	後半 14章 二つの世界大戦	・二つの世界大戦の原因と影響について理解し、現代的な課題について考察する。	・教科書・資料集・映像を参考にして、重要事項や展開をプリントにまとめる

2 学期 (5 6)時間	前半	15章 冷戦と第三世界の成立 16章 現代の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・現代的な諸問題と冷戦、第三世界についての関連を理解する。 ・現代の問題について、歴史的な視点から理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やニュースなどから現代的な問題を挙げ、それとの関連について、教科書・資料集を参考にプリントに整理する。 ・現代の諸問題について選択し、その解決策を教科書・資料集を参考にして論述する。 ・グループで取り組むなどして協調的な学習を行う。
	後半	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を通じて既習事項の再確認をする。また大学入試問題に慣れるとともに、問題の傾向・対策について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで取り組むなどして協調的な学習を行う。
3 学期 (3 2)時間		問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を通じて既習事項の再確認をする。また大学入試問題に慣れるとともに、問題の傾向・対策について考える。 	

評価の観点・視点

授業中のプリントや作業・課題の取り組み態度などの授業態度、定期考査、各種提出物により、各観点について総合的に評価する。